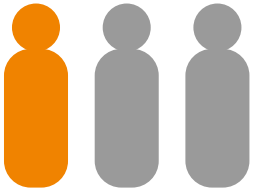
50歳以上の方に知ってほしい！

帯状疱疹とワクチンについて

帯状疱疹とは？

昔かかった「水ぼうそう」のウイルスは、**90%以上の日本人成人**において神経の中にずっと潜んで眠っています。年を重ねて免疫力が低下し、ウイルスが目を覚ますことで発症します。50歳を過ぎると発症率が上がり、**80歳までに約3人に1人**が帯状疱疹を経験するといわれています。



約3人に1人が経験

おもな症状は？

体の片側に**「ピリピリ」「ズキズキ」とした痛み**があらわれ、やがて**赤い発疹、水ぶくれ**などが出ることが特徴です。症状が顔に出ると、顔面まひや視力に影響を及ぼすこともあります。多くは体の片側の神経に沿って、帯状にあらわれます。皮膚症状が改善した後も生涯にわたって強い神経痛を残す**帯状疱疹後神経痛**を生じることがあります。









かかりやすい人はいるの？

基礎疾患別の帯状疱疹の発症リスク

自己免疫性疾患など	糖尿病	腎不全	関節リウマチ	高血圧
約4～8倍	約2.4倍	約2.2倍	約2.0倍	約1.9倍

シングリックスの効果

帯状疱疹に対する予防効果は、50歳以上で97%、70歳以上で90%でした。さらに期間を延長し、最長11.4年（中央値）まで観察しました。

50歳以上	70歳以上	すべての期間 11.4年
97%	90%	87.7%

シングリックスの投与方法

50歳以上の方には、**通常2か月の間隔を置いて、2回筋肉注射を行います。**
2か月を超えた場合であっても、6か月後までに2回目の接種を行います。

シングリックスの安全性

注射部位の腫れや痛み、筋肉痛のほか、発熱や倦怠感が出ることがありますが、**長期的な重大な副作用はほとんど報告されていません。**

ワクチンで認知症・脳卒中・心疾患も予防？

帯状疱疹ウイルスは、認知症や脳卒中、心筋梗塞のリスクにつながるといわれています。近年、帯状疱疹ワクチンによってこれらの発症確率を下げることができるという研究結果が次々と出てきています。

認知症	脳卒中	心疾患
発症リスク	発症リスク	発症リスク
-20%	-12%	-10%
女性のほうが効果が高いと報告されています		心筋梗塞や心不全（約10%低下）

シングリックスの費用

定期接種	自費
11,000円 × 2回	23,000円 × 2回

定期接種対象者：市から接種券が届いている方

- 年度中に65歳を迎える方
- 60歳～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（身体障害者手帳1級相当）を有する方
- 【経過措置（2025年度～2029年度まで）】年度中に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳を迎える方

当院では、50歳以上の方には帯状疱疹ワクチンの接種をお勧めしています。
ご希望の方・気になる症状がある方は、医師にお伝えください。

予約はこちら
0798-48-8030